

## 漁業の概要

銚子地区は県内で唯一沖合底びき網漁業が営まれています。漁業許可上の制限により操業期間は9月～翌6月までで、漁場は銚子沖から常磐沖まで操業し、ヤリイカ、オキナマコ、カレイ類、アオメエソ(メヒカリ)等多種多様な「底もの」を漁獲しています。

これまでは20トン以上の大型漁船で操業を行っていましたが、経営の効率化のため、共同経営体を立ち上げ20トン未満船への移行が進められています。

本漁業で漁獲された漁獲物は、市内はもとより県内外の消費地市場にも広く出荷されています。



沖合底びき網漁船

## 漁業収入モデル (乗組員として新規就業時)

|     |         |
|-----|---------|
| 月 給 | 20万円+歩合 |
| 賞 与 | —       |
| 備 考 | —       |

※漁師.jp求人情報より引用

※年、資源状況等によって変動することがあります。

## 年間操業計画

| 対象魚種 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月   | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|----|----|----|----|----|----|------|----|----|-----|-----|-----|
| 全魚種  |    |    |    |    |    |    | 休漁期間 |    |    |     |     |     |

## 1日の操業スケジュール例

### ▼ヤリイカの操業:12～3月

|           |                |
|-----------|----------------|
| 2:00～3:00 | 集合・出漁準備・出港     |
| 4:00頃～    | 操業             |
| 12:30頃    | 帰港、水揚げ作業       |
| 13:00～    | 片付け・漁具等のメンテナンス |
| 14:00～    | 解散             |

### ▼魚類の操業:9～6月

|             |                |
|-------------|----------------|
| 2:00～3:00   | 集合・出漁準備・出港     |
| 4:00頃～      | 操業             |
| 翌日7:00～8:00 | 帰港、水揚げ作業       |
| 8:30～       | 片付け・漁具等のメンテナンス |
| 10:00頃      | 解散             |

## 就業と漁労作業

新規就業者は甲板員として各船で漁労作業に従事しながら、操業に必要な技術を学んでいきます。ある程度の経験を積んだ後に、1級小型船舶免許や海上特殊無線などの資格を取得し、経験と能力に応じて機関部員や漁労長、船長などの役割を担います。

通常は水深100-300m、時には500mの深場で操業します。漁場に到着後、投網を開始し、モニターで海中の網の様子を確認しながら曳網します。揚網後、甲板上で選別と魚倉への収容、次回の投網準備を行いながら、次の漁場に移動します。目的とする魚種により、1航海当たりの投網回数は異なりますが、一連の作業を数回繰り返した後、ヤリイカでは出港した日の昼頃、魚類では翌朝7時前後に帰港して水揚げ作業を行います。